

ハンドブック
ワンポイント
レッスン

知っておきたい規則とルール

Question

私は69歳の現役プレーヤーとして、近隣の仲間たちと日々楽しんでいるこの頃です。

貴発行の8月号にはプレーヤーのサービス順序等誤りの質問と回答が掲載してありました。今回私の質問は、アンパイヤー(正審)が誤審コールし、サーバーもコールを確認せずそのままインプレーとなったときの対応処理を教えてください。

正審がコールミス(ポイントカウント)をした場合は、プレーヤーはコール訂正後、トスを開始することが必要と考えます。以下は全日本シニア選手権で発生した1ゲーム目の事例です。正審のコール後(カウントミス)と同時に相手サーバー(前衛)がトスし、レフトサービスコートにインとなりました。レシーバー(前衛)はコールミスと判っていたが時間的余裕もなく返球しました。私レシーバー(後衛)は、正審のコールミスと同時に相手がトスし打球したため、大きな声と左手を挙げ前衛が返球するまでに「タイム」と連呼した。私(後衛)は、試合態勢も不十分、正審のミスとサーバーのコール確認ミスであり、レットになるものと判断した。しかし、相手サーバー(前衛)は、コールミスを知りつつ、アンパイヤーが試合を止めていないし、打球を止め中断したら失点となるから続けるべきだと言いつつ続行態勢となったため、仕方なく打球を続けました。このポイントは私たちペアの打球ミス(アウト)により失点となりました。正審には今回のプレーはレットにすべき内容。返球前にタイムと意思表示していると質問したが、返球したためにプレーは成立するとの回答でした。何か心にもやもやした気分が残った大会でした。(私たちペアが明らかに3-0で勝っており正審が2-1とコールミス。レフェリーを呼び提訴する自信と勇気もなく続行しました。次のポイントカウントは3-1である旨正審に伝え了解の上開始したが、2-2と再度コールミス。と同時に相手後衛もトスを開始した。打球前に私が再度タイムと言ったため、レットとなってサーブのやり直しをした。)

なお、今回のプレーでの正審と副審との連携は何もなく如何に対応すべきであるか教えてください。私はアンパイヤー(正審)のコールミスがトラブル主要因であり、ノーカウントとコール、レットとしてサーブを再開すべきだと考えます。回答よろしくお願いします。

Answer

正審がポイントカウントのコールを誤り、アンパイヤーもプレーヤーも気づかずにインプレーとなり、プレー中に誤りに気づいてもプレーを中断してはいけない。

(公財)日本ソフトテニス連盟発行機関誌を愛読下さり感謝申し上げます。

さて、全日本シニア選手権大会に出場されたときの事例とのことですが、プレーヤーがお互いにアンパイヤーを務める中で、必ずしも競技規則を正確に理解されておられる方ばかりではない事も承知していますが、プレーをする上で公平な判定を望むことは皆さん同じだと思います。貴殿が言われる手順で行われると問題がないと思われませんが、多くの方はコールを未確認のままプレーをしておられる様で、今回の様に非常に微妙なタイミングでの誤りが起きたのでしょうか。誤ったコールを聞き直ちにプレーを停止する事ができる場合と、後から質問等で解決する場合とがあります。今回の場合は後半の質問で解決できる問題のようです。そこで貴殿は、誤ったコールをいち早く訂正をして正しいポイントカウントで始めたい思いから「タイム」と連呼されたと推測しますが、すでにトスして打球した後のことで、インプレーになっています。この事は、審判規

則第17条(スコアの誤り)に、「誤りに気づいてもインプレーでは、プレーを中断せず、そのプレーは有効とする。」となっています。従って、中断した場合は、中断したペアの失点となります。返球した時点で有効となっていると判断するのが自然でしょう。このところの判断は大変難しく判定の分かれるところでしょう。インプレーに入るときにレシーバーにレシーブの態勢が取れていたかどうかは、正審が判断することになっています。また慌てて気づいたときにプレーを止めず、インプレーが終わった後に質問あるいは確認すればよいと思います。なぜならポイントカウントの誤りについては、そのゲーム内であれば訂正することが出来るからです。又インプレーでは、プレーを中断しない事を知っているからです。

正審はポイントカウントの誤りが、第1サービスがフォールトになった時点、あるいは次のポイントのコールをする際に気づいていれば訂正を行います。事例のようにインプレーになり、返球前にタイムの意思表示をしても、インプ

プレーになってからタイムと言ってプレーを止めることはプレーを止めた側の失ポイントになります。

このようにルールの解釈やその適用に関して常に正しい判断が必要になります。平素から競技規則に関心を持たれ正しい理解が望まれます。そうする事によって、心がもやもやした気分でプレーすることもなく、楽しんでプレーが出来るでしょう。

また事例ではその後も正審がポイントカウントのコールを誤り、サービスのトスが行われた後、つまりインプレーになってから再度タイムと言ってプレーを止め、レットとしてそのサービスをやり直した。とありますが、前述したようにインプレーになってからプレーを止めることは失ポイントに繋がります。ただ、この文章から判断すれば時間的に微妙ですが、おそらくサービス時にレシーバーが気づき、レシーブ態勢に入らず「タイム」と言って中断し、正審がこれを認めレットとしてサービスをやり直したものと推測されますが、この場合は、「タイム」とコールしプレーを止め、明らかにスコアの誤りであることが認められる場合は、「コレクション」とコールして正しいカウントをコールするのが正しい対応です。また、正審のコールミスがトラブルの主要因であり、その後は「コレクション3-1とコール、レットツーモアサービス」で再開する事になります。誤解のない様今一度ソフトテニスハンドブックを解説され、正しい用語の使用を望みます。

【関連規則】

競技規則第37条（タイム）(2)

競技規則第40条（異議の申立て等の禁止）2

審判規則第14条（再判定）【解説 25】

審判規則第17条（スコアの誤り）及び【解説 25】

ジュニア審判マニュアル

競技規則について

13. タイム (2)

審判規則について

8. スコアの間違いはどうすればよいか？

（スコアの誤り）(1) (2)

